２０１５年度

冬期運輸観光安全情報

国土交通省 北海道運輸局

１．昨冬期の暴風雪による輸送障害について

《陸上輸送機関の輸送障害の発生状況について 》

昨冬の北海道は、冬型の気圧配置が長続きせず、北海道付近で低気圧が発達・停滞することが多くなり、このため、道東を中心に毎週のように暴風雪警報が出された時期がありましたが、平成25年3月の猛吹雪により中標津町・湧別町等で9名の方が犠牲となったことを受け、北海道開発局などの道路管理者は、暴風雪で視界不良となる前の早い段階で道路の通行止めの措置を取るなど対策を強化し、暴風雪による国道の通行止めの回数・通行止め延べ時間がともに平成16年度以降最多・最長となりました。また、道道の通行止め延べ時間についても直近3冬期で最多となりました。

昨年度（平成26年度）においても、以下のような雪害による輸送障害が発生しました。

（1）鉄道関係

・平成26年12月17日から18日にかけて太平用側と日本海側を北上した二つの低気圧が北海道付近で合体して発達したため、両日で約600本が、また、平成27年1月7日から8日にかけて発達した低気圧に伴う道央等での暴風雪により、両日で約430本の列車が運休しました。さらには平成27年1月18日及び20日には道内の広い範囲で強風を伴う大雪により、約350本の列車が運休する輸送障害が発生しました。

・平成26年12月から平成27年2月に踏切道において、直前横断等により自動車と列車が衝突する踏切事故が4件発生しました。

（2）自動車関係

・平成27年1月23日から翌日にかけて大雪・暴風雪をもたらした低気圧の影響により、釧路運輸支局管内のバス会社の各路線に全便又は一部運休するなどの輸送障害が発生しました。

昨冬期の降雪量は、札幌が例年の62%など北海道内各地域で少雪傾向であったが、道東を中心に短期間に集中的に降り積もった時期があったため、網走・根室市では積雪の最高値が平年を大きく上回りました。

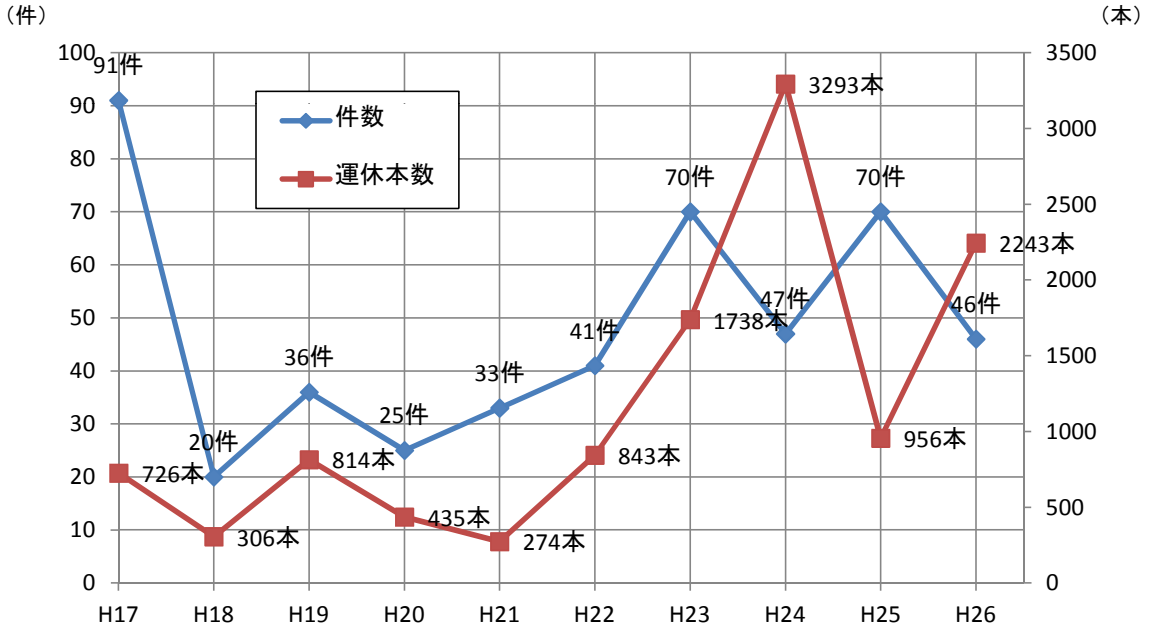
暴風雪は、依然として脅威であり、北海道運輸局としても災害への備えを行い、地域の安全確保に取組んでまいります。

１－２．雪害による鉄道輸送障害について

《雪害による鉄道輸送障害の推移（過去１０年間）》

雪害による列車影響の推移（過去10年間）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
件数	91	20	36	25	33	41	70	47	70	46
運休本数	726	306	814	435	274	843	1738	3293	956	2243

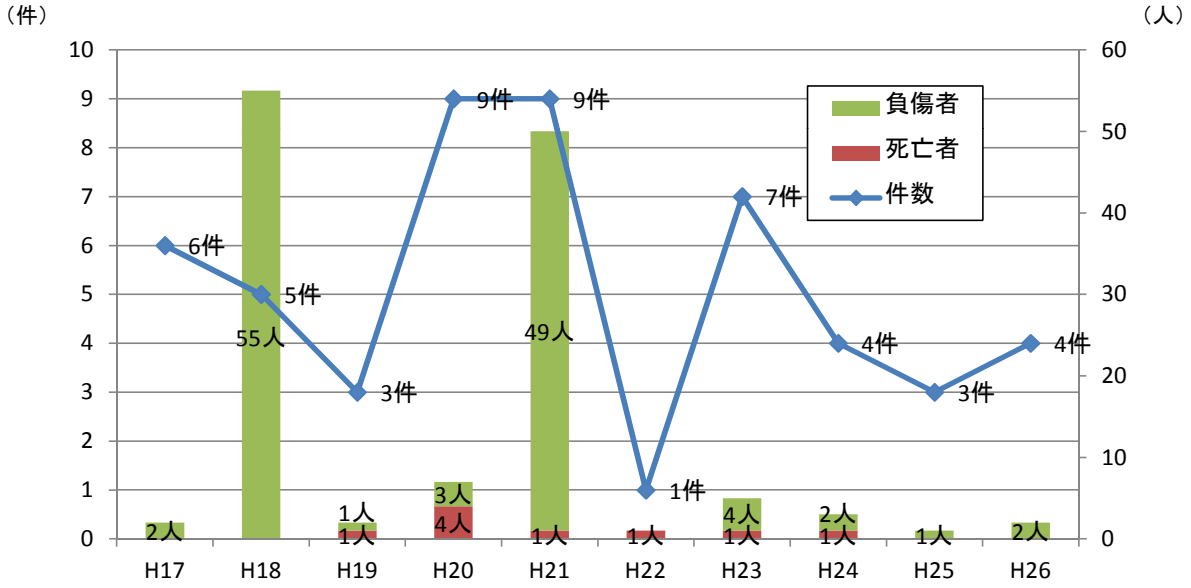


１－３．雪害による鉄道輸送障害について

《冬期（12月～3月）踏切障害事故の推移（過去10年間）》

冬期（12月～3月）踏切障害事故の推移（過去10年間）

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
件数	6	5	3	9	9	1	7	4	3	4
死亡者	0	0	1	4	1	1	1	1	0	0
負傷者	2	55	1	3	49	0	4	2	1	2



２．今冬期の安全確保への取組

（1） 北海道運輸局HPにおける冬期安全確保情報の一元化

（ア）過去3年間の鉄道踏切事故発生箇所の情報を、国土地理院北海道地方測量部と連携して地図上にマッピングし、当局のHPで公開しています。

北海道内の踏切事故発生箇所MAP

（イ）官民関係機関のHPとリンクし、それぞれが提供している安全対策情報を一括して、関係事業者及び一般ドライバーへ広く情報提供を行うことにより、事故防止の取組としています。（別紙1）

（2） 自動車関係の冬期の取組

（ア）北海道運輸局では「冬期における事故防止について」の通達を発出し、以下の安全対策などの徹底を関係団体に要請

・交差点における右左折時の安全確認の徹底
・冬期の交通環境、異常気象を十分考慮し、余裕を持った運行計画の作成
・気象情報、降雪情報、道路状況等の情報収集、運転者に対する適切な対応の指導徹底
・冬道等の道路状況に適応した安全運転の指導徹底
・タイヤ交換時におけるホイールの点検及びホイール・ナットの規定トルクでの締付け
・車両火災防止のため、走行距離、使用年数及び道路環境等を十分考慮した確実な点検

（イ）冬期のドライブ観光客に対する安全運転注意喚起
（別紙2参照）

・道内の主要レンタカー会社の協力を得て、雪道に不慣れな外国人を含む道外からのレンタカー利用観光客等に対し、貸出し時の冬道安全運転の注意喚起とともに、留意点や冬のドライブ心得等を説明したチラシを配布し、冬道の交通の交通事故防止を図る。
　なお、外国人利用者に対しては、4か国語（日、英、中文・繁体字、中文・簡体字、韓の5字体）で表示されたチラシを適宜配布する。

※北海道開発局作成「北海道ドライブまるわかりハンドブック」を使用

（ウ）年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施（12月10日～1月10日）

（３） 鉄道関係の冬期の取組

（ア）踏切事故防止キャンペーンを推進

〇冬の踏切事故防止キャンペーン（11月11日～11月20日）
・警察への協力要請及び協議会構成団体への出勤要請
・ポスター掲示、グッズ・リーフレットの配付、踏切における広報活動
・全道7箇所で出発式の実施

〇厳寒期の踏切事故防止キャンペーン（1月21日～1月30日）
・広報活動：踏切手前における早めのブレーキ操作喚起

〇踏切事故防止講習（運行管理者等基礎講習）を16回実施
・NASVA主催の運行管理者等基礎講習時に講師を派遣

（イ）年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施（12月10日～1月10日）

（4） 船舶関係（道内）の通年にわたる取組

（ア）旅客船事業者及び内航海運事業者等の安全確保を目的とした「運航管理者等研修」（平成27年11月）において、輸送の安全を確保するため以下の安全対策等を周知、徹底

・機関の事故実例に基づいた故障防止策の習得
（日本舶用機関整備士協会講師による）
・海難事故の実例に基づいた防止策の習得
（第一管区海上保安本部講師による）
・津波被害に対する再認識と対策

（イ）多客期を前にした事業者に対する安全点検の実施
（平成27年1月 羅臼地区、同4月 小樽地区など）

（ウ）流氷観光（紋別・網走地区）を目的とした遊覧事業者に対する安全点検の実施（平成27年1月）

（エ）年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施（12月10日～1月10日）

※　自動車整備に係る取組

○冬の準備への早めの対応を周知

　　冬期間の安全な運転を推奨するため、早めの冬の準備を啓発するリーフレット（PDF）を北海道運輸局及び関係機関のHP上に掲載し、周知を図る。

別紙１

官民関係機関HPリンク一覧

【冬道事故防止】

① 北海道内の踏切事故発生箇所MAP （北海道運輸局）
過去3年間の踏切事故発生箇所情報が国土地理院提供の地図で見ることができます。

② 冬の準備はお早めに （北海道運輸局）

③ スリップ事故発生マップ（北海道、北海道警察）

④ 交通事故発生マップ （北海道警察）
北海道内で発生した交通事故の場所や状況が確認できます。

⑤ 事故危険区間MAP （北海道開発局）
・冬道ドライブの心構え
・気をつけて！冬道運転となだれ

⑥『安全運転啓発ビデオ』危険は見えない！～その運転は大丈夫ですか？～
（一般社団法人 札幌レンタカー協会作成 YouTubeに飛びます）

⑦ 冬季特有の労働災害を防止しよう！ （北海道労働局）

【吹雪等の気象情報】

⑧北の道ナビ（北海道道路情報化研究会：寒地土木研究所）
・吹雪の視界情報－リアルタイムで全道の吹雪状況が確認できます。
・距離と時間検索 － 検索区間の「通行止め情報」「経由する市町村ごとの吹雪等の視界状況」も確認できます。

⑨ 気象情報 （気象庁札幌管区気象台）
・暴風雪等の気象情報
・アメダス積雪情報
（地方 → ▼をクリックし「北海道の地域」を選択）
（要素選択 → ▼をクリックし「積雪深さ」「地名」等を選択）
・ 大雪に関する異常天候早期警戒情報

【通行止め、道路・交通情報】

⑩ 北海道地区道路情報 （北海道開発局）
・カメラ画像－全道の主な道路及び峠の状況をカメラの映像によりリアルタイムで見ることができます。

・道路の通行止－ 国道、道々の通行止め情報が確認できます。

⑪ 交通機関 □ 日本道路交通情報センター □ NEXCO東日本
□ JR北海道 □ バス会社HP一覧

⑫ 北海道ドライブマップ2015秋冬版 （NEXCO東日本）
・北海道の冬の高速道路の要注意スポットや高速道路運転のコツなど、冬の高速道路を安全・快適にドライブするための情報が確認できます。

【防災情報など】

⑬ 北海道防災情報（北海道）
・リアルタイムで気象警報、注意報等の情報が地図で確認できます。

⑭ 防災情報 （国土交通省防災情報提供センター）
携帯電話からも最新の防災情報が確認できます。
（二次元バーコードを読み取り携帯電話からもアクセス）

⑮ ハザードマップ（北海道）
津波、火山噴火、洪水、土砂災害、地震について道内各市町村が作成した地図等

⑯「火山」 分野別にさがす （気象庁）
・火山カメラ画像、火山情報の解説、日本活火山総覧などの火山情報が分野別に確認できます。

※ リンク先等は、変更となる場合があります。

日本語

1 冬のドライブの心得

要注意!! 乗る前に必ずお読み下さい

夏と違うぞ!冬道運転

滑る!

「圧雪路面」は降雪が重なり押し固められた状態。「アイスバーン路面」とは雪が一旦溶けて再び凍り薄い氷の膜になる状態。とくにアイスバーン路面はとてもよく滑る。一旦スリップすると制御しにくくなるからとても危険だ。

乾燥舗装路	約10m
圧雪路	約30m
凍結路(アイスバーン)	約110m

時速50kmからのフルブレーキ実験結果

(北海道環境生活部くらし安全局道民生活課HPより抜粋)

ブラックアイスバーンにだまされない!

アイスバーンの中でも、「ブラックアイスバーン」というやっかいな路面がある。雨や溶けた雪が再氷結するときにできる路面だが、一見すると普通の黒く濡れた路面のように見える。実はこれが一番滑る路面なので、冬の「黒く光る路面」は要注意!

見えない!

猛吹雪になると前が見えなくなる。地面の雪が強い風に舞い上げられて視界不良になることもある。また、対向車のトラックが巻き上げる雪煙も一瞬視界がなくなる。こんなときは速度を落としながらゆっくり進むしかない。

埋まる!

深い雪に入ると埋まって抜け出せなくなることがある。なるべく除雪されているところ、車が通った跡があるところを走行しよう。

やってはいけないこと!

「急ブレーキ」「急加速」「急ハンドル」

とくに、急ブレーキをかけて車輪がロック(止まったまま滑ること)すると、車が制御不能になりとても危険。

ワンポイントアドバイス 冬道運転が初めての人は※ABS(エービーエス)付きのレンタカーを指定して予約すること!

※ABSはアンチロックブレーキシステムは、急ブレーキをかけても車輪がロックしない、急ブレーキをかけつつ、衝突を回避するためのハンドル操作ができるシステムだ。但し、氷結路面がつるつるの時等、路面との摩擦が極端に少ないとき、ABSは効果を失う。過信は禁物だ。

ワンポイントアドバイス ブレーキが壊れた!?

ABS(アンチロックブレーキシステム)は初めての人は驚くかもしれない。凍結路面でタイヤがロック(車輪が止まったまま滑る状態)した時、ブレーキを踏んだ瞬間、「ガー」という大きな音がする。これは、自動的にブレーキの効き方を制御する装置が作動した音。慌ててブレーキを緩める必要はない。

ガーッ

冬道運転の心得 3か条

ゆっくり走る
基本はやはりスピードを出し過ぎないこと。ゆっくり走ることで危険を回避するための時間的余裕が生まれる。

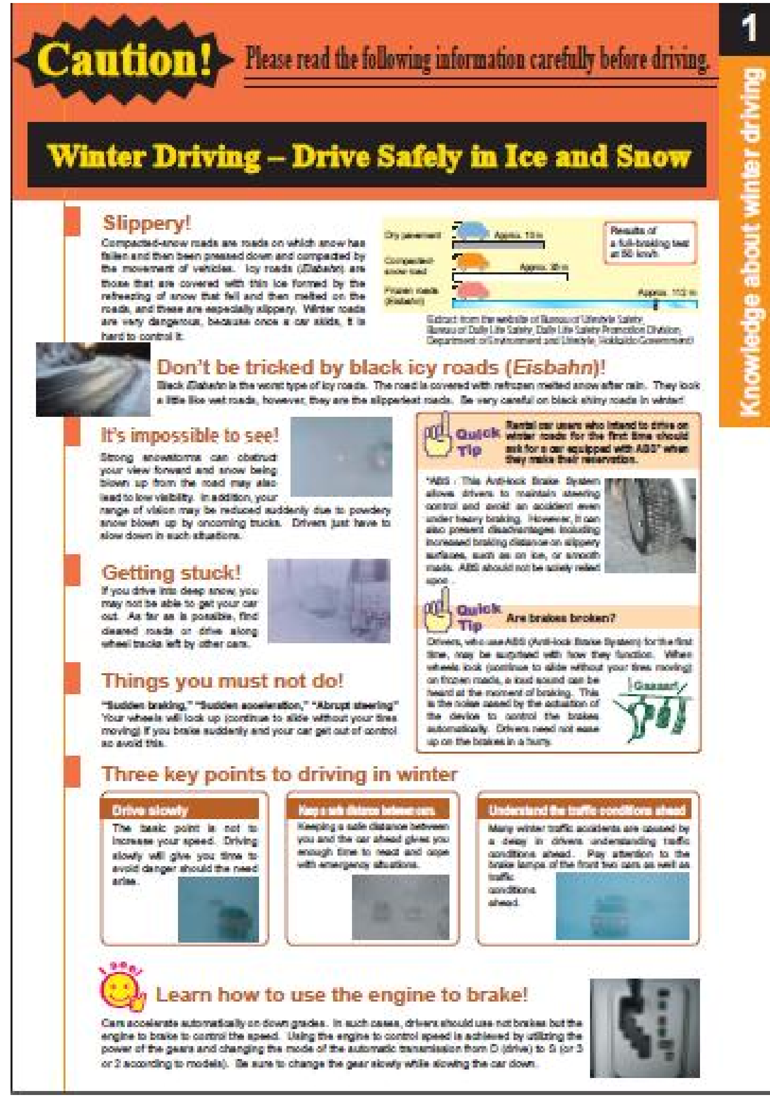
車間距離をとる
前の車との距離を取っておくことで、何か突発的なことが起こっても慌てず余裕を持てる。

前の交通状況を把握する
冬の交通事故の多くは気づくのが遅れることが原因。前のその前の車のブレーキランプを気にし、前方の交通状況に注意すること。

エンジンブレーキを覚えよう!

下り坂では車は自動的に加速される。そんなときはブレーキを踏まずに、エンジンブレーキを使うとスピードが抑えられる。エンジンブレーキとは、オートマチックミッションを「D:ドライブ」ではなく「S」(車種によっては数字の「3」や「2」など)のモードに切り替えることによってギアの力でスピードを制御できる機能のことだ。切り替えは減速しながらゆっくりと行うこと。

英語



1 Knowledge about winter driving

Caution! Please read the following information carefully before driving.

Winter Driving – Drive Safely in Ice and Snow

Slippery!

Compacted-snow roads are roads on which snow has fallen and then been pressed down and compacted by the movement of vehicles. Icy roads (*Eisbahn*) are those that are covered with thin ice formed by the refreezing of snow that fell and then melted on the roads, and these are especially slippery. Winter roads are very dangerous, because once a car skids, it is hard to control it.

Dry pavement	Approx. 10 m
Compacted-snow road	Approx. 30 m
Frozen roads (Eisbahn)	Approx. 110 m

Results of a full-braking test at 50 km/h

Extract from the website of Bureau of Lifestyle Safety, Bureau of Daily Life Safety, Daily Life Safety Promotion Division, Department of Environment and Lifestyle, Hokkaido Government

Don't be tricked by black icy roads (*Eisbahn*)!

Black *Eisbahn* is the worst type of icy roads. The road is covered with refrozen melted snow after rain. They look a little like wet roads, however, they are the slipperiest roads. Be very careful on black shiny roads in winter!

It's impossible to see!

Strong snowstorms can obstruct your view forward and snow being blown up from the road may also lead to low visibility. In addition, your range of vision may be reduced suddenly due to powdery snow blown up by oncoming trucks. Drivers just have to slow down in such situations.

Getting stuck!

If you drive into deep snow, you may not be able to get your car out. As far as is possible, find cleared roads or drive along wheel tracks left by other cars.

Things you must not do!

"Sudden braking," "Sudden acceleration," "Abrupt steering"

Your wheels will lock up (continue to slide without your tires moving) if you brake suddenly and your car get out of control so avoid this.

Quick Tip: Rental car users who intend to drive on winter roads for the first time should ask for a car equipped with ABS* when they make their reservation.

*ABS : This Anti-lock Brake System allows drivers to maintain steering control and avoid an accident even under heavy braking. However, it can also present disadvantages including increased braking distance on slippery surfaces, such as on ice, or smooth roads. ABS should not be solely relied upon.

Quick Tip: Are brakes broken?

Drivers, who use ABS (Anti-lock Brake System) for the first time, may be surprised with how they function. When wheels lock (continue to slide without your tires moving) on frozen roads, a loud sound can be heard at the moment of braking. This is the noise raised by the actuation of the device to control the brakes automatically. Drivers need not ease up on the brakes in a hurry.

Gaaaar!

Three key points to driving in winter

Drive slowly
The basic point is not to increase your speed. Driving slowly will give you time to avoid danger should the need arise.

Keep a safe distance between cars
Keeping a safe distance between you and the car ahead gives you enough time to react and cope with emergency situations.

Understand the traffic conditions ahead
Many winter traffic accidents are caused by a delay in drivers understanding traffic conditions ahead. Pay attention to the brake lamps of the front two cars as well as traffic conditions ahead.

Learn how to use the engine to brake!

Cars accelerate automatically on down grades. In such cases, drivers should use not brakes but the engine to brake to control the speed. Using the engine to control speed is achieved by utilizing the power of the gears and changing the mode of the automatic transmission from D (drive) to S (or 3 or 2 according to models). Be sure to change the gear slowly while slowing the car down.